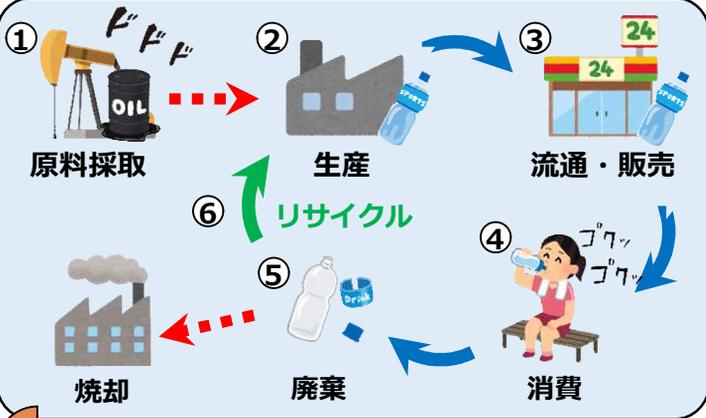


# kurashiki letter business 暮らしの通信 **ビジネス版** Vol.3 循環型社会

## 循環型社会のイメージ

循環型社会の形成のためには、製品のライフサイクルの各工程で、**ごみの減量**に取り組むことが一番重要です！



### 各工程での**ごみ減量**のポイント

モノの流れ	ごみ減量のポイント
① 原料採取	なるべく <b>再生可能資源</b> に代替
② 生産	<b>ごみが出にくい製品</b> を設計
③ 流通・販売	需給の <b>マッチング</b> でロスゼロ
④ 消費	メンテナンスしながら <b>長期活用</b>
⑤ 廃棄	リサイクルするために <b>徹底分別</b>
⑥ リサイクル	なるべく <b>マテリアルリサイクル</b>

## 循環型社会の形成に向けて

今、我が国では、天然資源の消費を抑制し、環境負荷を低減した循環型社会の形成を目指しており、事業者には、その事業の内容に応じた、ごみ減量の取り組みが求められています。

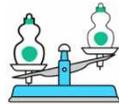
例えば、生産では、なるべく再生可能資源を使い、ごみが発生しにくい製品をデザインすること、流通・販売では、需給のマッチングによりロスを減らすことが重要とされています。

また、事業者自身も消費者として、製品の適切な使い方を知り、長く使用すること、廃棄するときには、徹底して分別し、リサイクルすることが求められています。

## ごみが出にくいデザイン

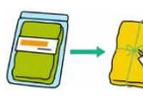
製品の設計段階から、ごみの減量につながるような工夫がされた製品のことを環境配慮設計品といいます。これを機に、御社でも取り組んでみませんか？

**使用する材料を少なくする**



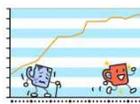
減量化！

**包装の簡素化**



過剰包装をやめよう！

**長期使用化・長寿命化**



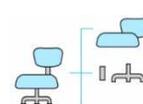
耐久性強化！  
簡単メンテナンス！

**再使用が容易な部品を使用**



部品は再使用！

**分解・分別の容易化**



簡単分解！  
簡単分別！

**再生利用が容易な材料を使用**



簡単リサイクル！

### 参考となるラベル **エコマーク**



原料採取から廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を考慮して、環境保全に資するものとして認定された製品に表示されています。



家庭にもこんなにあるんだね！

参考：(公財)日本環境協会エコマーク事務局HP



## 環境配慮設計品を使おう

環境配慮設計品を、正しく、長く使うと、ごみ減量につながります。身近な取り組みとして、まずは環境配慮設計品を使うことから始めませんか。